

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和元年度

遊学館「つ・な・ぐー」

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 |
|----------|---|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | 個別的療育が必要時に、部屋の確保が出来るように環境を整理していく |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| 業務改善 | ③ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | |
| | ④ | 保護者等に向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | 日常の中で改善できることは、取りくんでいく |
| | ⑤ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | ⑥ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 外部評価未実施 今後、他施設の職員の評価を聞いていく |
| | ⑦ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑧ | アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | | ○ | | 前期で紙面上のニーズの確認が終わってしまったので、年間通して、確認して進めていく |
| | ⑨ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 行動観察をしていきながら、検査結果と合わせて捉えていく |
| | ⑩ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | ⑪ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 子どものねらいを基に、幅広くプログラムを組み立てていく |
| | ⑫ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか | | ○ | | 具体的な支援を行うようにします |
| | ⑬ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | | ○ | | ねらいを基に、支援の体制を幅広く考えていく |
| | ⑭ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 細かい支援方法を行うためには、より具体的な打ち合わせを意識していく |
| | ⑮ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた | | ○ | | 共有する時間は取っているが、より具体的な話し合いを意識してい |

| | | | | | | |
|------------------------------|----|--|---|---|--|---|
| | | 点等を共有しているか | | | | く |
| | ⑩⑥ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 今後は具体的な記載内容を意識していく |
| | ⑩⑦ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | | ○ | | モニタリングの時期の見直しや、幅を広げて情報を取るようしていきたい |
| | ⑩⑧ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | | 定期的に話し合いを行う |
| 関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携 | ⑩⑨ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | |
| | ⑩⑩ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | | 情報は取っているが、今後積極的に話し合いの場を設けていく |
| | ⑩⑪ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | |
| | ⑩⑫ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | 連携を取れるように意識していく |
| | ⑩⑬ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| | ⑩⑭ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか | | ○ | | 時間の確保の見直し及び内容の検討を行っていく |
| | ⑩⑮ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | ニーズの確認から具体的支援を意識し、施設として取り組んでいく |
| 保護者への説明責任等 | ⑩⑯ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | | ○ | | 説明時に分かりやすく提示していく事を心がけていく |
| | ⑩⑰ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | ○ | | 適切な話や、具体的な話をしていけるように心がけていく。 又、知識や情報の幅を広げていく。 |
| 保護者への | ⑩⑱ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | | ○ | | 小さなことから、ご意見を確認していきながら、改善に向けて取り組んでいく |

| | | | | | | |
|--------|----|---|---|---|---|--------------------------------------|
| | ②9 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | | ホームページの頻度・内容を充実していく |
| | ③0 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 管理は、厳重にしていく事を意識していく |
| | ③1 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | | ○ | | 意思の疎通に向けて、時間の確保をし、配慮をしていく |
| | ③2 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | |
| 非常時の対応 | ③3 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | | ○ | マニュアル関係に関して提示していく |
| | ③4 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 訓練の計画、結果報告を提示していく |
| | ③5 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するよう等、適切な対応をしているか | ○ | | | 防止意識を高めていく、又知識を得るために、研修会には積極的に参加していく |
| | ③6 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | |
| | ③7 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | ③8 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 次に繋がるような記載をしていく |